

二〇二二年度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国語
(第一回試験)

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。
また、それと同じ漢字を用いる熟語を選択肢の二重傍線部から選び、

解答欄に番号を書きなさい。

① ランナーがマラソンコースの7km地点を通カする。

1 不運にも、旅行先で戦力に卷き込まれる。

2 そのアイドルグループの人氣は一カ性のもので終わった。

3 私はこの三月で高校カ程を終え、進学する。

4 学校では、カ美な服装は避けたほうがよい。

② 細かいことにコウ泥する。

1 外国人と盛んにコウ流する。

2 ふたりの実力が拮コウし、決着がつかない。

3 その規約には、法的コウ束力はない。

4 判決が不服で、上級裁判所にコウ訴する。

③ 十年前の記憶が、昨日のことのように鮮レツに思い出される。

1 結婚式に友人として参レツする。

2 近くで風船の破レツ音が聞こえる。

3 私は彼女の熱レツ的なファンだ。

4 最初のアルバイト先の職場環境はレツ悪だった。

④ 動かなくなった車をレツカー車でケン引する。

1 風邪の兆候がケン著にあらわれる。

2 先生は脳外科のケン威だ。

3 彼は自己ケン示欲が強い。

4 彼の説はケン強付会も甚だしい。

⑤ 会議がフン糾する。

1 フン末の薬は苦手だ。

2 目標に向かつて大いにフン起する。

3 心無いことばにフン慨する。

4 スマートフォンをフン失する。

二

①～⑤の傍線部の読み方を、解答欄にひらかなで書きなさい。

① 権力者の無尺藏な要求に屈してはならない。

② 動物園ではじめて駱駝を見た。

③ 庭に雑草が繁茂する。

④ 暫時の休憩をとる。

⑤ その失敗は許容の範疇だ。

三

次の①～⑤の各文中には、不適切な表現があります。その箇所を修正し、語順を変えずに、解答欄に全文を書きなさい。

- ① よい文章を書くためのコツは、書いた文章を声に出して読むことがだいじである。
- ② 同署では、殺人現場に残った証拠から、犯人は被疑者であると見られている。
- ③ 私は庭の樹木にヒヨドリは巣を作っているのを見た。
- ④ 金曜日、彼は予定がないので来れるそうです。
- ⑤ 彼とは、ある式典でご一緒になった。

四

次の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

(山極寿一「気持ち伝わるコミュニケーション 言葉に境界、五感いかして」『朝日新聞』朝刊、二〇二二年八月六日、一三面、「科学季評」より)

問一 傍線部〈A〉の説明としてもっとも適切なものを選択肢から一つ選び、解答用紙に番号を書きなさい。

- 1 人間は、会話によって人間関係を築いてきたが、近年はインターネット上の悪意ある言葉によってそれができないということ。
- 2 人間は、言葉で世界を様々に表現してきたが、それらの中には差別的なものがあり、公的に発言しにくくなっているということ。
- 3 本来、人間関係や経済活動を円滑にするはずの言葉が、むしろ人を傷つけたり、経済活動の停滞を招いたりしているということ。
- 4 人間は、言葉で現実の物事を整理し、世界を秩序立ててきたが、近年は言葉の意味に囚われすぎているということ。
- 5 言葉は、人間にとって使うべき道具だったが、最近は言葉のほう人間を傷つけあうように仕向け、操っているということ。

問二 波線部〈B〉の問いに対し、筆者はどのような答えを出していると考えられますか。本文中の言葉を用いてわかりやすく説明しなさい。解答は、次の空欄にあてはまるように十五字以上、二十字以内(句読点を含む)で解答欄に書くこと。

言葉は

ために作られた。

問三 あおに入る、もっとも適切な言葉を選択肢から選び、解答欄に番号を書きなさい。

- 1 味覚
- 2 視覚
- 3 感覚
- 4 触覚
- 5 聴覚
- 6 嗅覚

問四 【I】～【IV】のなかには、次の二つの言葉のいずれかが入りま
す。それぞれについて適切なものを選び、解答欄に番号を書きな
さい。同じ番号を重複して使ってかまいません。

- 1 共有
- 2 共鳴

問五 (X)と(Y)には慣用的表現が入ります。それぞれについて、もっとも適切な言葉を選択肢から選び、解答欄に番号を書きなさい。

- X 1 フクロウ 2 オオカミ 3 ヘビ 4 ライオン 5 ハイエナ
Y 1 雷が落ちる 2 空から槍が降る 3 天地がひっくり返る
4 お盆の水がこぼれる 5 藪をつつく

問六 二重傍線部(C)とは、どのような問題ですか。次の空欄にあらうように文中の言葉を使って説明しなさい。解答は解答欄に六十字以内で書くこと。

という問題。

問七 破線部(D)の説明としてもっとも適切なものを選択肢から一つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- 1 自殺を志向する他者から相談を受けたときは、言葉の選択以上に声やしぐさに気をつけて言葉を発するべきである。
- 2 人に会えない不満を解決するためには、他者と情報技術を介して繋がるよりも、直接会ったほうがよい。
- 3 コロナ患者を少しでも早く病から回復させるためには、言葉をかけるだけではなく、身体に触れて励ますほうがよい。

- 4 コロナの流行によって医療現場に広まりつつある遠隔回診をする際は、死者を出さないためにVRを駆使すべきである。
- 5 コロナ禍とはいえ、心の健康を保つためには言葉だけでなく身体を介して気持ちを伝えあうべきである。

問八 以下の文章を入れるとすればどこですか。①〜⑫から一つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

いったいコミュニケーションとは何だろうか。私たちは何を伝え合っているのだろう。

問九 次の選択肢の中から、筆者の主張と合致するものには1を、しないものには2を、解答欄に書きなさい。

- a オンライン会議ではコミュニケーションは不完全になる。
- b 言葉は、目には見えないものごとを表現できる。
- c 他者との信頼を深めるためには言葉は不要である。
- d 人間の五感とは、他者の心の動きとは無関係である。
- e 情報技術の発達は人のコミュニケーション能力を奪う。

